

『 自己免疫病は肝臓でも増加していくのか？ 』

肝臓川柳

『 肝臓病 増加するかも 肝恐汚染』



(環境汚染が肝臓をも恐怖に落とし入れるものになるかも！)

.....ノノノノノ

《免疫とは・・・》

異物に対して体が反応し、異物を退治してくれる事を言いますが、
自分の細胞を異物と誤って攻撃してしまう事があり、
それによって病気になることを広く“自己免疫病”と言います

《肝臓でも・・・》

自分の肝細胞を免疫細胞が攻撃して肝炎を起こす“自己免疫性肝炎”という病気があり、
日本での患者さんは約 10,000 人と推定されています

《最近・・・》

“免疫の反逆 (ドナ・ジャクソン・ナカザワ著 ダイアモンド社)”
という本が刊行されましたが、アメリカでは“自己免疫病”が最近著明に増加しており、
原因の一つとして環境汚染 (PCB などの化学物質) が大きくかかわっているらしい
と書かれています。 化学物質が免疫機構を狂わせてしまうとのことです。

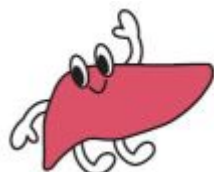
《原因は・・・》

自己免疫性肝炎の原因は遺伝的要因、免疫異常が言われていますが・・・

⇒⇒⇒まだはっきりしていません

《もしかして・・・》

環境因子として、ウイルスや薬剤などでも類似の肝炎が発生することがありますが、
環境汚染が関わってくるとなると日本でも患者さんが増えてくるのかも知れません。



これだけ覚えておけば損はない！

今 回 の ポ イ ン ト

自分の肝細胞を免疫細胞が攻撃して肝炎を起こす“自己免疫性肝炎”という病気があります。自己免疫病の原因の一つとして環境汚染 (PCB などの化学物質) が大きく関わっていて、化学物質が免疫機構を狂わせてしまう と書かれた本も出ています。環境汚染が肝炎の増加を引き起こすかもしれないということです。身の回りだけでなく肝臓をも脅かすかもしれない環境汚染・・・

もっと真剣に考えていかないといけませんね。

(文： 福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ッ侯和夫)